



犬・笑・暮だより vol.18

Magical Brushing ②

～ブラシがあれば、躰(しつけ)も
クールダウンも出来ちゃいます～



前号に引き続き、ブラッシングの魔法についてお伝えします。換毛期のあるわんちゃん、ないわんちゃんも、魔法のブラッシングで飼い主さんと素敵な毎日を！

身を美しくで躰(しつけ)？！

ブラッシングに限らず、お手入れが苦手になってしまったわんちゃんは、お手入れの時間を楽しいコミュニケーションの時間にすることが出来ません。体の先端や敏感な部分をいつでも触らせてくれるように育てるには、いきなり何でもやろうとせず、子犬の頃から少しずつ慣らしておくのがベストです。

「でも、嫌がるようになってしまったから……」と避けていると、例えば毛玉が出来てしまい、ほぐすためにブラシで無理に引っ張ったりする羽目になり、わんちゃんは痛くてよけい嫌がる……という悪循環が続きます。わんちゃんが嫌がっても、少しずつ出来るところからブラシをかけてみてください。

わんちゃんがいいコでおとなしくしていただけるうちにやめ、よお～く褒めてあげます。毎日少しずつ繰り返していくことで、わんちゃんも「怖がったりすることはないな……」「別に痛くないな……」と警戒心が和らいでいきます。逆にいつも褒められ優しくされることで、段々お手入れの時間が好きになっていきます。焦らず時間をかけて、いろいろなお手入れが出来るようにしていきましょう。

お手入れが何でも出来る、どこでも触れるということは、飼い主さんとわんちゃんとの関係が変わってきているってことです。ここまでくれば、わんちゃんに全面的に信用されている飼い主さんの誕生！といってもいいでしょう。そういえば、躰(しつけ)という言葉は「身を美しく」と書きますよね。

リラックスして心も体もクールダウン！

夏が終わり、季節の変わり目のこの時期、わんちゃんも疲れが出たり、体調を崩したりしがちです。リラックス出来る時間を作って心も体もクールダウンしてあげましょう。また、日々の生活の中でも、たくさん遊んだり興奮したりした後はストレスを残さないために、クールダウンが必要です。ここでも、ブラッシングの魔法の登場です。優しく毛並みに沿ってブラッシングを行えば、リラックス効果抜群です！

News & Topics

赤ちゃんは犬の言葉が理解できる？！

人間の赤ちゃんは犬と接したことがなくても、犬の鳴き声を聞けば、怒っているか機嫌がよいか聞き分けられるということがブリガムヤング大学心理学の Ross Flom教授らの研究で明らかになりました。実験の方法は、乳児にまず表情が違う同じ犬の2枚の写真を見せ、怒っている時と友好的な時の鳴き声を聞いて、写真と結びつけるというもの。生後6カ月の乳児でも、鳴き声とそれに合った犬の写真とを正しく結びつけることができ、年長の乳児になるとより早く犬の声と表情を正しく結びつけられたそうです。

この研究は「乳児はペーターベンの悲しい曲と楽しい曲を聞き分けられる」という研究結果に続くもの。犬の言葉も音楽も、子どものような純真な心で聞けば理解することができるということでしょうか。

(Brigham Young University 「Babies understand dog-speak, BYU study finds」より)



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは



にお気軽にご相談下さい



庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>

